

冬物しまい方のコツ

今までいろいろと収納のコツやテクニックを紹介してきましたが、今回は、趣向を変えて冬物のしまい方そのものについて詳しく特集します。せっかく冬物衣類を洗っても、しまい方ひとつで虫食いやカビを発生させてしまいます。汚れや臭いをしっかり落とすことと十分に乾燥させることがポイントです。

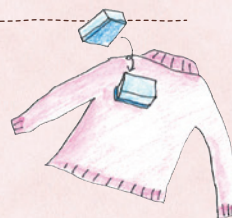
01 しまう前にまずは **しっかり乾燥**

冬物を洗ってしまう前には、とにかくよく干して乾燥させることが重要です。衣類に湿気が残っていると保管中にカビや虫食いの原因になります。**クリーニング**に出した場合、**ビニールを外して風通し**のよいところに干します。風を十分に当て乾燥させ、再びビニールカバーをかけてタンスにしまおうとよいでしょう。



02 **毛玉** はしっかりととりましょう

まずは、**洗う前にしっかりとブラッシング**。化繊混紡のセーターなどはスポンジの固い面で軽く拭くようにするととれます。とれない場合は、毛玉がついた部分を折って、山になったところについている毛玉をハサミで少しずつ切るとよいでしょう。



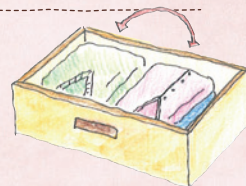
03 気になる **臭い** もとりましょう

気になるのが、臭いです。特に、丸洗いができないものは、**スチームアイロンをかけるか、お湯を張った浴槽の上に吊るして湯気があたるようにすると**、たいいていの臭いはとれます。その後、忘れてはいけないのが、**しっかりと乾燥させる**ことです。



04 タンスに **しまってから**のコツ

梅雨時と8月の終わりには、引き出しを開けっぱなしにして**風を通す**といいでしょう。この時、扇風機を使って風を送ると便利です。開けた時に、引き出し内の衣類の場所を入れ替えるときらよいでしょう。



05 タンスに **しまう時の**コツ

まず、引き出しを開けて固く絞った**タオルで隅々まで拭き**ましょう。しばらく風を通して乾燥させることを忘れずに。タンスは、**下の段ほど湿気が多くなり**、カビや虫食いになりやすいので、**上段**にアンゴラ、カシミア、ウールなどの虫が付きやすい衣類、**中段**に化繊混紡の衣類、**下段**に化繊の衣類の順がおすすめです。



アンゴラ、カシミア、ウールなど

中段に化繊混紡の衣類

下段に化繊の衣類

バックナンバー

『177号収納のコツ』『267号自分の「性格」に応じたかっこいい収納スタイル』『272号衣替えの季節にスムーズで簡単!洋服収納テクニック』もあわせてご覧ください。

上村建設

<http://www.e-uemura.jp>

住まいの宝箱

<http://www.e-jyutaku.com>

賃貸物件をお探しの方は

<http://www.happy-house.co.jp>

★詳しいお問い合わせは各支店まで。電話番号は裏面をご覧ください。